

遺産地域等貴重な自然環境保全推進費

79百万円（92百万円）

自然環境局自然環境計画課

1. 事業概要

屋久島、白神山地、知床、小笠原諸島世界自然遺産地域においては、世界遺産委員会の勧告等に基づき、順応的な保全管理や産業と遺産地域保護管理の摩擦への対応等が求められている。また、世界遺産地域の保護管理技術の向上のため、保全管理手法を各国と共有することが推奨されている。

また、平成15年の「世界自然遺産候補地に関する検討会」における候補地の選定から約10年が経過し、その他地域における新たな科学的知見の集積が進んでいることから、改めて候補地の検討を行う必要がある。

以上のことから、次の事業を実施する。

①世界自然遺産地域の順応的保全管理

学識者等により構成される科学委員会等を運営するとともに、長期的なモニタリング調査を実施し、最新の科学的知見に基づく順応的保全管理を行う。

また、勧告へ適切に対応するための各種戦略の策定や取組等を検討する。

②新たな世界自然遺産候補地の検討等

有識者による検討会を設置し、最新の科学的知見に基づき、候補地の検討を行う。

③世界遺産委員会等における情報収集・発信業務

世界遺産委員会等の国際会議において、保全管理等に関する情報を収集するとともに、日本の保全管理状況を発信する。

④世界自然遺産地域の魅力発信等

国内の世界自然遺産4地域の保全管理手法や魅力を国内外へ発信する。

2. 事業計画

(年度)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
①順応的保全管理			長期モニタリング・順応的保全管理		
			気候変動戦略等策定(知床)		
	管理計画見直し(白神山地・屋久島)			順応的管理の試行(白神山地・屋久島)	
	遺産登録(小笠原諸島)			勧告対応(小笠原諸島)	
②候補地検討					
③情報収集・発信					
④遺産地域の魅力発信等					

3. 施策の効果

各遺産地域における保全管理体制の強化、勧告対応等により、遺産地域の保全管理の質の向上を図るとともに、国内外への情報発信により、国内のみならず世界の遺産地域の保全管理の質の向上に貢献。

また、新たな世界自然遺産候補地を検討し、貴重な自然を将来世代へ引き継ぐ。

遺産地域等貴重な自然環境保全推進費

背景

◎知床、屋久島、白神山地
 ・平成23年の世界遺産委員会において、保全状況を報告
 ・これを受け、モニタリングの結果を対策に反映させる順応的な保全管理を一層充実させることが必要

◎小笠原諸島登録
 ・平成23年度に世界遺産登録
 ・世界遺産委員会の勧告等に適切に対応することが必要

◎新たな遺産候補地の検討
 ・平成15年に専門家検討会で遺産候補地を選定してから10年が経過し、新たな知見をもとにした検討を進める必要

◎世界遺産条約への貢献
 ・平成24年にアジア地域行動計画が策定
 ・遺産の保全管理に関するキャパシティビルディング等への要請の高まり
 ・国際的な情報の収集、国内遺産地域に関する情報の国内外への発信が必要

平成25年度 実施内容

世界自然遺産地域における順応的管理体制の充実

- 科学委員会、WGの運営
- 地域連絡会議の運営
- 長期モニタリングを実施（気候変動による影響を含む）
- 遺産地域別の課題対応

【知床】 ○ 気候変動適応戦略の検討 ○ 日露隣接地域生態系保全協力実施	【屋久島・白神山地】 ○ 改定された管理計画に基づく順応的管理	【小笠原諸島】 ○ 科学委員会等を通じた管理体制の強化 ○ 遺産委員会の勧告事項対応
---	---	---

新たな世界自然遺産候補地等の検討

新たな世界自然遺産候補地としての価値を有する可能性のある地域を検討

- 最新の科学的知見の情報収集・分析
- 国際的動向に関する情報収集・分析
- 専門家検討会等における検討
- 生物圏保存地域との整理及び連携

世界遺産委員会における情報収集・発信

- アジア地域行動計画報告
- 国際的動向
- 国内新規推薦候補物件等に係る情報収集・分析
- 日本の保全管理の状況発信



遺産地域の魅力発信

世界遺産の魅力、適切な利用や保全管理の取組に関する情報発信を行う

- 既存遺産地域に係るホームページ拡充
- 遺産登録20周年(屋久島・白神山地)記念事業の実施